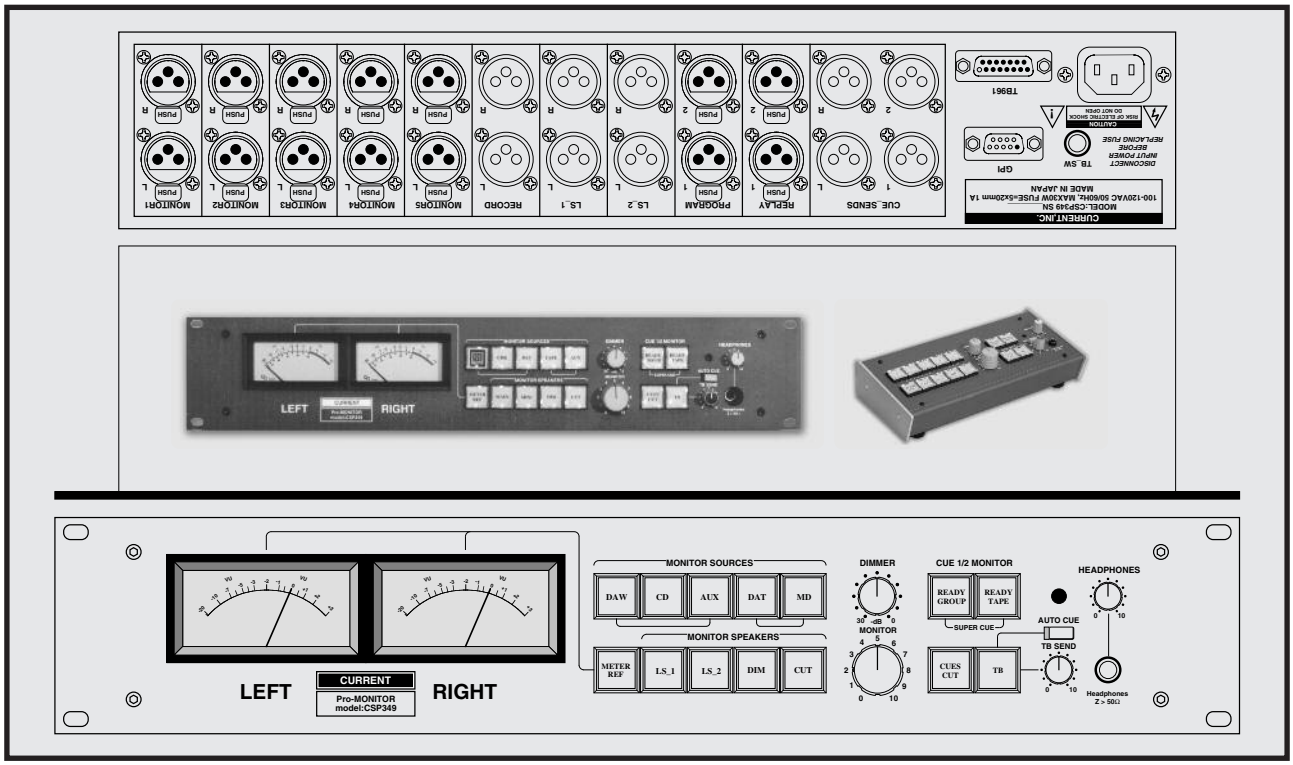
CURRENT PRODUCTS model:CSP349

PRO MONITOR



● 5 系統のモニターセレクター ●SUPER CUE ● 3 系統のスピーカー
●ReadyGroup/ReadyTape 機能 ●トークバック ●オート CUE
●REC アウト ●超高音質 ●CUE ボックス対応 STEREO+1/2
●ヘッドフォンモニター ●リファレンス可変ＶＵメーター

ＣＳＰ３４９はモニター、VU メーター、CUE ボックス、トークバックシステムをワンパッケージにした DAW システムに最適なモニタリングシステムです。ダビング時に問題となる生音とプレイバックのレイテンシー問題を解決する ReadyGroup/ReadyTape 機能を備えます。

◆モニターセレクター

モニターソースは 5 系統あり、ソース 1 、2 、3 は主にプレイヤー、4 、5 はレコーダーを接続します。 1 － 3 は選択したものが REC アウトへ出力され、 4 ， 5 ではプレイバックモニターが可能です。(4 、 5 は REC アウトへ出力されません)モニターセレクターは内部スイッチで 1 － 5 を連動するように変更することもできます。この場合、REC アウトへは 1 － 5 のモニターしているソースが出力されます。また、REC アウトは内部スイッチの切換でモニタースピーカーの 3 系統目として使用できます。(LS1,2 が off の状態)

◆ReadyGroup/ReadyTape

ダビング時にプラグインを多用した場合などに生音とリプレイのレイテンシーが問題になることがあります。これを解決するのが Ready-Group/Tape 機能で、ProTools の場合には USD/SyncI/O から出力される Rec タリーにより、CUE へ送るモニターを ProTools から生音へ切り換えます。ReadyGroup と ReadyTape の両方を ON にした場合には Su-perCue モードとなり、Rec になるまではリプレイとプログラムをミックスしたものが CUE 1 、 2 へ送られ、REC になるとプログラムだけになります。これらの機能を使用するためにはオーディオ I/O ユニットに入力するプリアンプなどの信号をパラで GroupInput へ入力する必要があります。タリーを接続しない場合には CUE1,2 のセレクタとして使用可能で、ReadyGroup でプログラム、ReadyTape でリプレイが出力されます。

◆トークバック

本体スイッチ、リモート TB ボックス、フットスイッチで CUE ボックスに対してトークバックが可能です。また、マイクコンプレッサーは内蔵とリモートがリンクされていますのでどちらでも明瞭なコミュニケーションができます。AutoCue を ON にすると PLAY または REC タリーが来るまではトークバックが ON になり、PLAY または REC 状態になると自動的に OFF になりますので手放しでコミュニケーションができます。

◆ＶＵメーター

標準では+4dBu ですが、"METER REF" ボタンで 0VU を 10dB アップの+14dBu に切り換えることもできます。(内部で調整可能です。)

◆リモートユニット

CSP349D はコントロール部が独立したタイプですので、デスクトップで操作することが可能です。(標準付属ケーブルは 1 m。最大 3 m) 本体フロントパネルはＶＵメーターとリモートコネクタのみとなります。

◆その他

ステレオ＋モノ 6 の SC6014、ステレオ＋モノ 8 の SC8016A 及び CUE マスターとして最適な CSP410 も併せてご検討ください。

SPECIFICATIONS

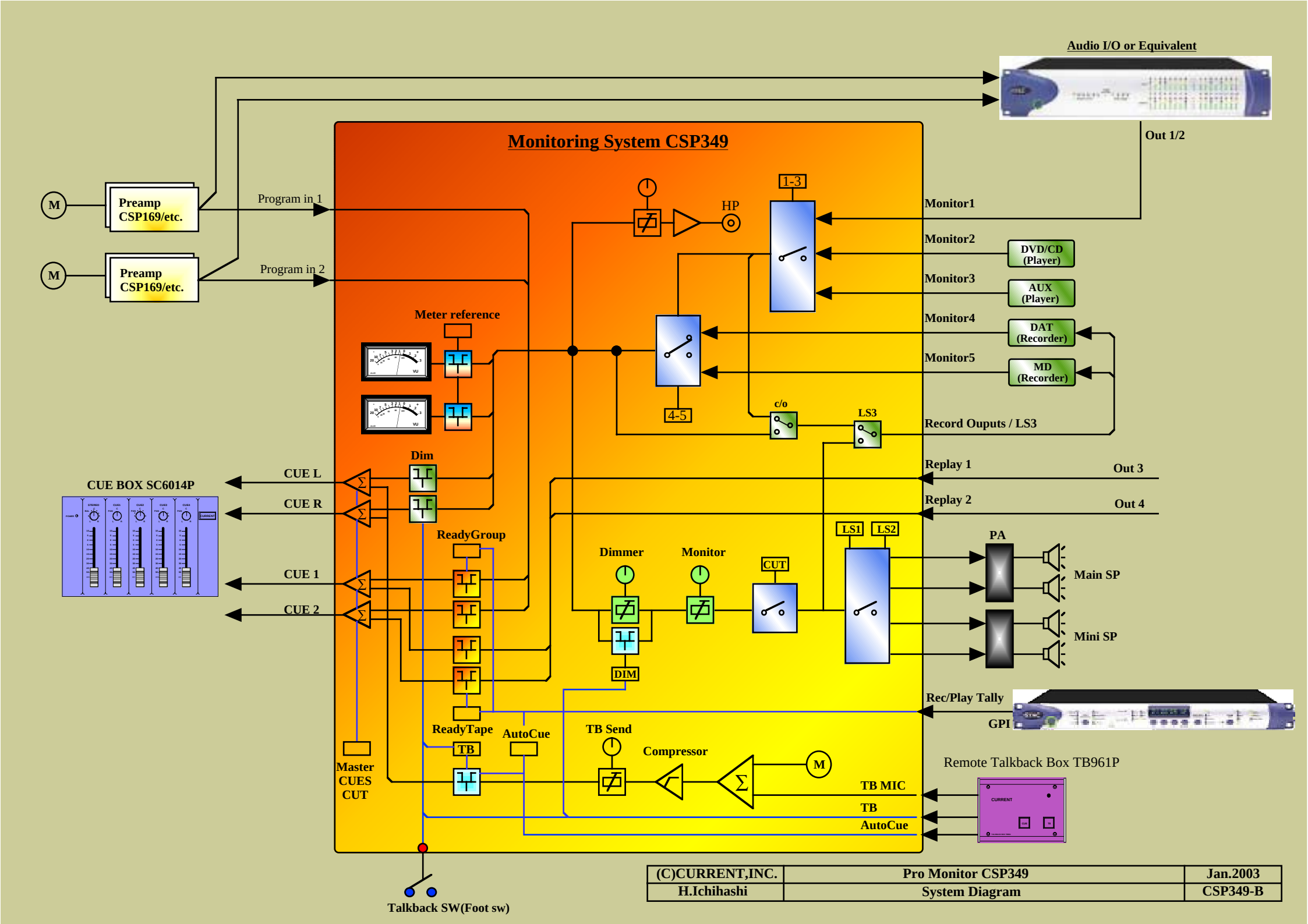
AUDIO INPUTS: BALANCED, 24kΩ **CONNECTOR**: XLR3-F
INPUTS REFERENCE LEVEL: +4dBu, MAX=+24dBu
AUDIO OUTPUTS: BALANCED, 50Ω **CONNECTOR**: XLR3-M
OUTPUTS REFERENCE LEVEL: +4dBu, MAX=+24dBu
FREQ.RESPONSE: 20 to 20kHz ±0.1dB **THD:** <0.01% at Ref.Level
EIN: <-90dB **MAINS:** 100VAC 50/60Hz MAX 30W
DIMENSIONS: 482Wx88Hx303D, 6kg

ラックマウント型	ＣＳＰ３４９：	￥５６０，０００
デスクトップ型	ＣＳＰ３４９Ｄ：	￥７２０，０００
ＴＢボックス	ＴＢ９６１Ｐ：	￥６４，０００
ＴＢケーブル５ｍ	ＴＢ９６１ＰＷ：	￥３２，０００
GPIケーブル５ｍ	ＣＳＰ３４９ＷＧ：	￥１６，０００
ＣＵＥボックス	ＳＣ６０１４：	￥１９８，０００
ＣＵＥケーブル５ｍ	ＣＣ６０１４	￥２５，０００
ＣＵＥ電源(最大２台)	ＰＳ６０１４Ｐ：	￥８０，０００
ＣＵＥパラケーブル	ＣＣ６０１４ＰＰ：	￥７，２００

付属品：ＡＣケーブル(価格はいずれも税別)

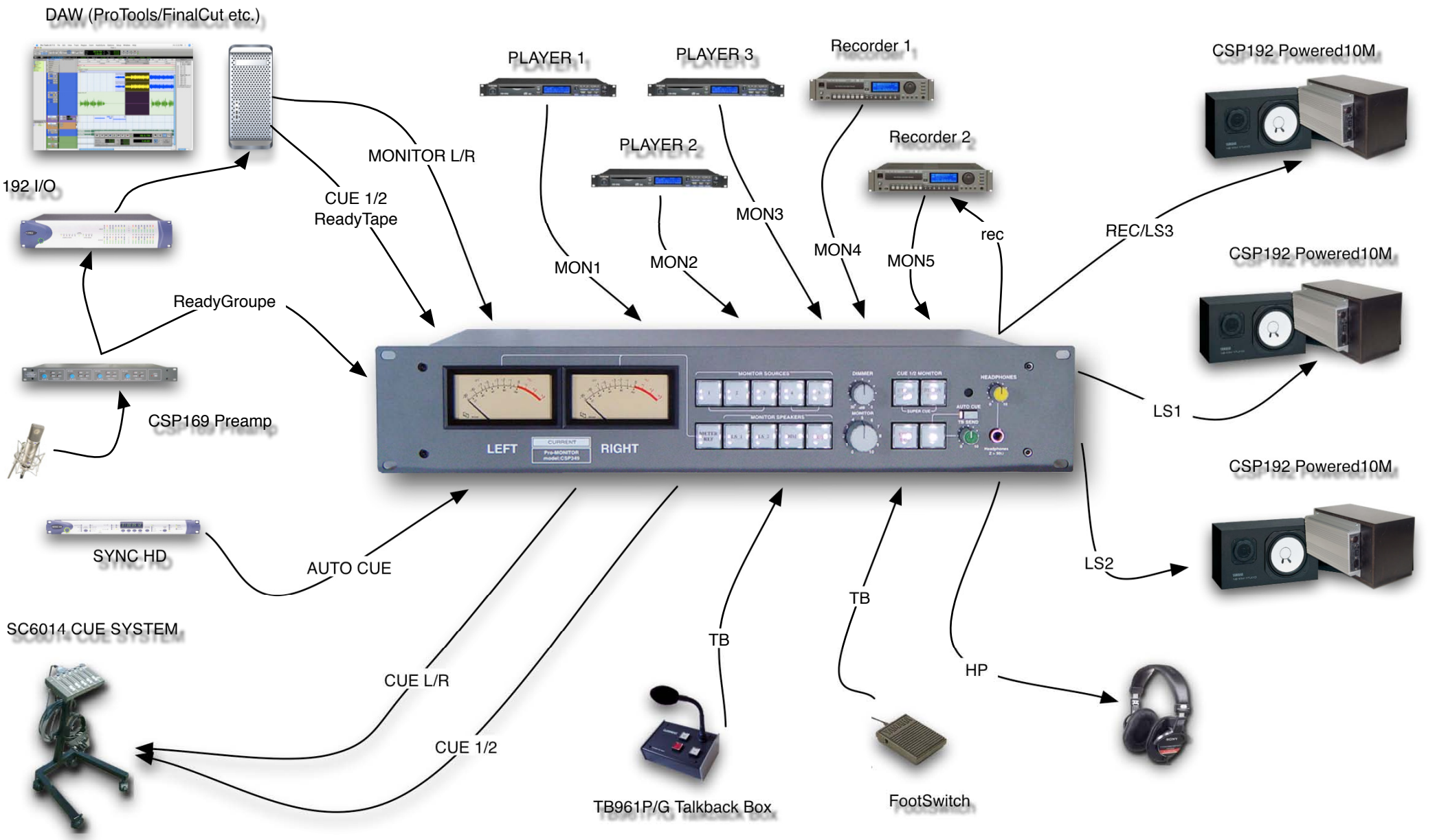
CURRENT,INC. 2-26-11, AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0044 JAPAN
株式会社カレント 〒156-0044 東京都世田谷区赤堤2-26-11 TEL:81-3-3321-9559 FAX:81-3-5376-2735

The specifications are subject to change without notice. 記載内容は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

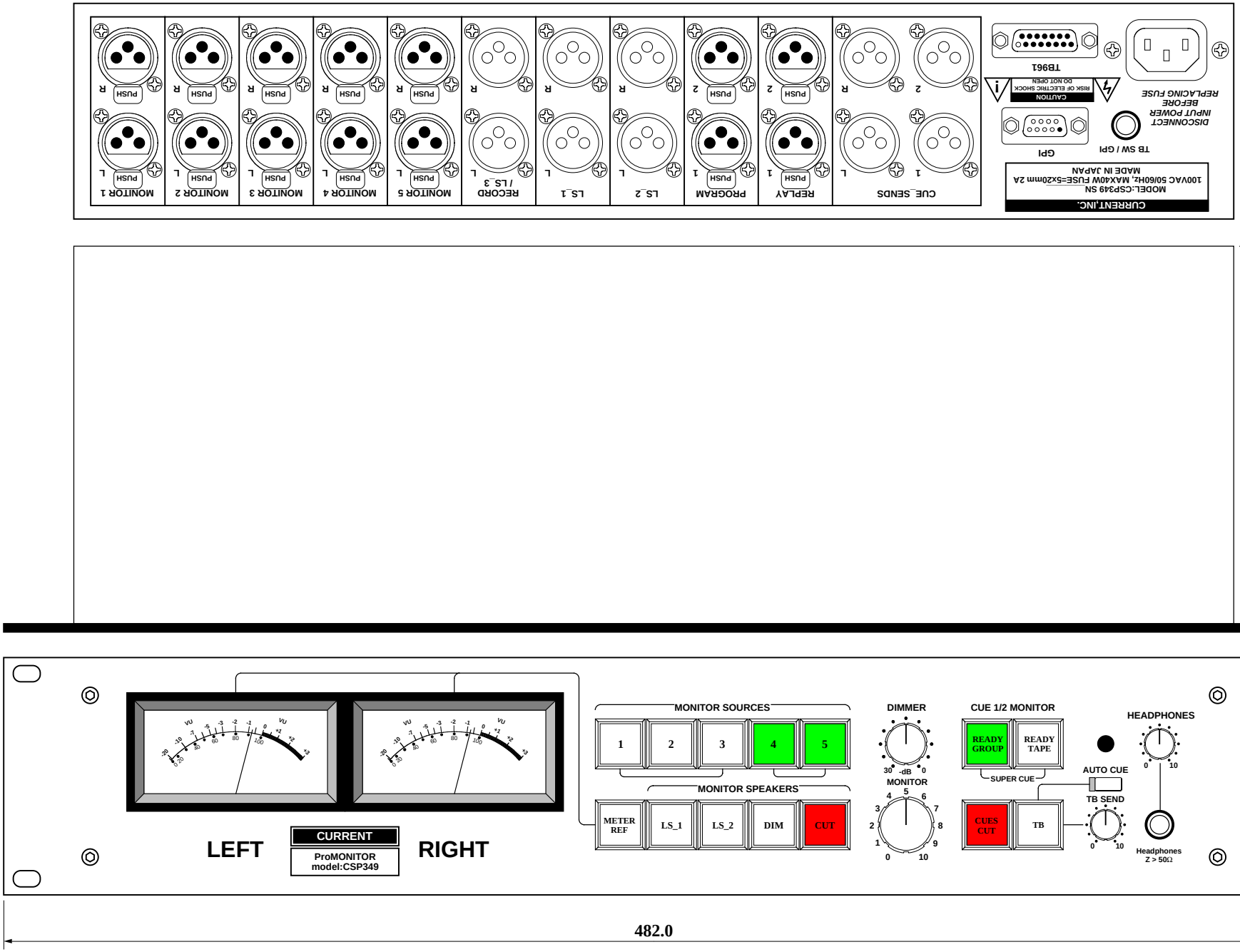


(C)CURRENT,INC.	Pro Monitor CSP349	Jan.2003
H.Ichihashi	System Diagram	CSP349-B

CSP349 Monitoring System

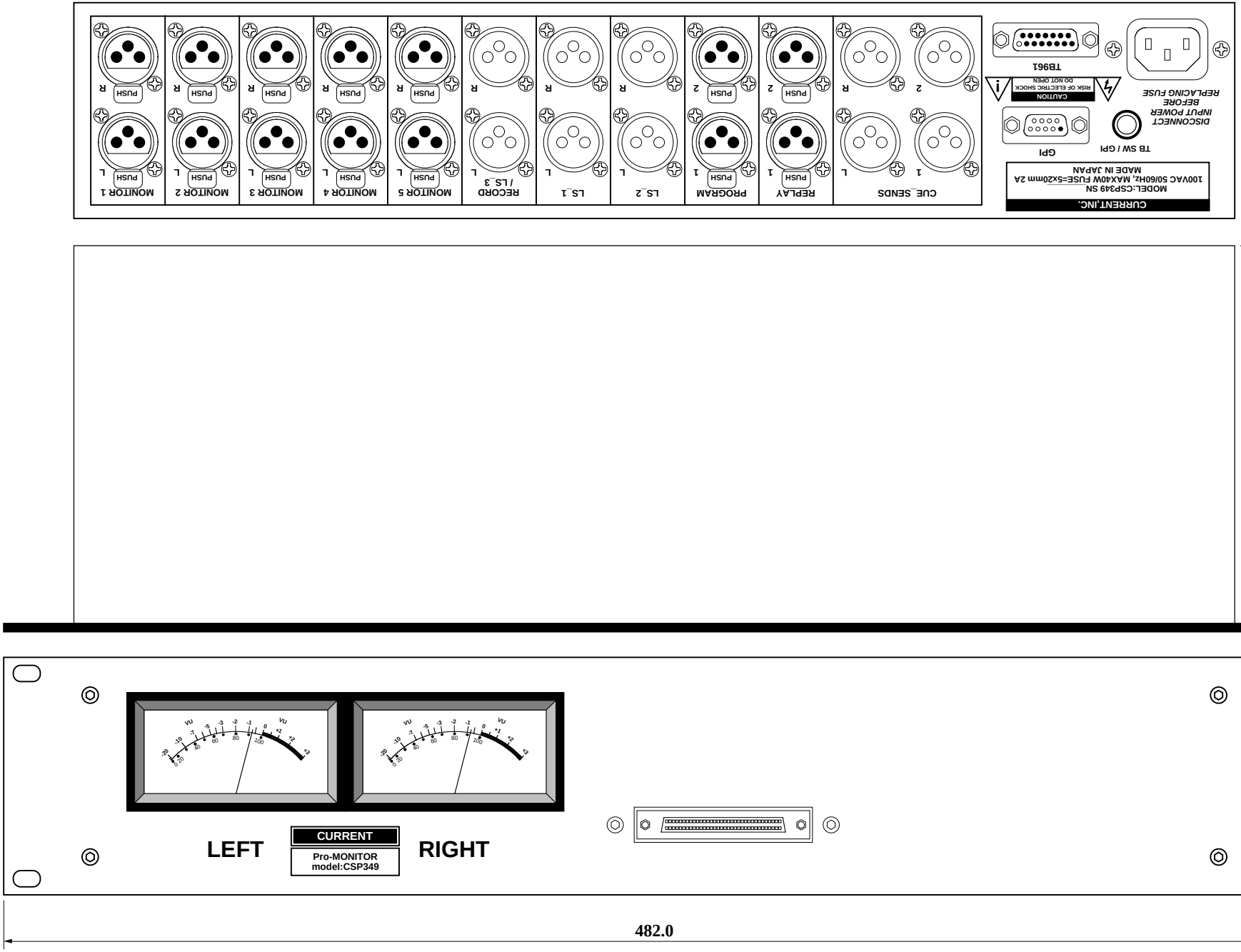


(c)CURRENT,INC.



Jul.2004

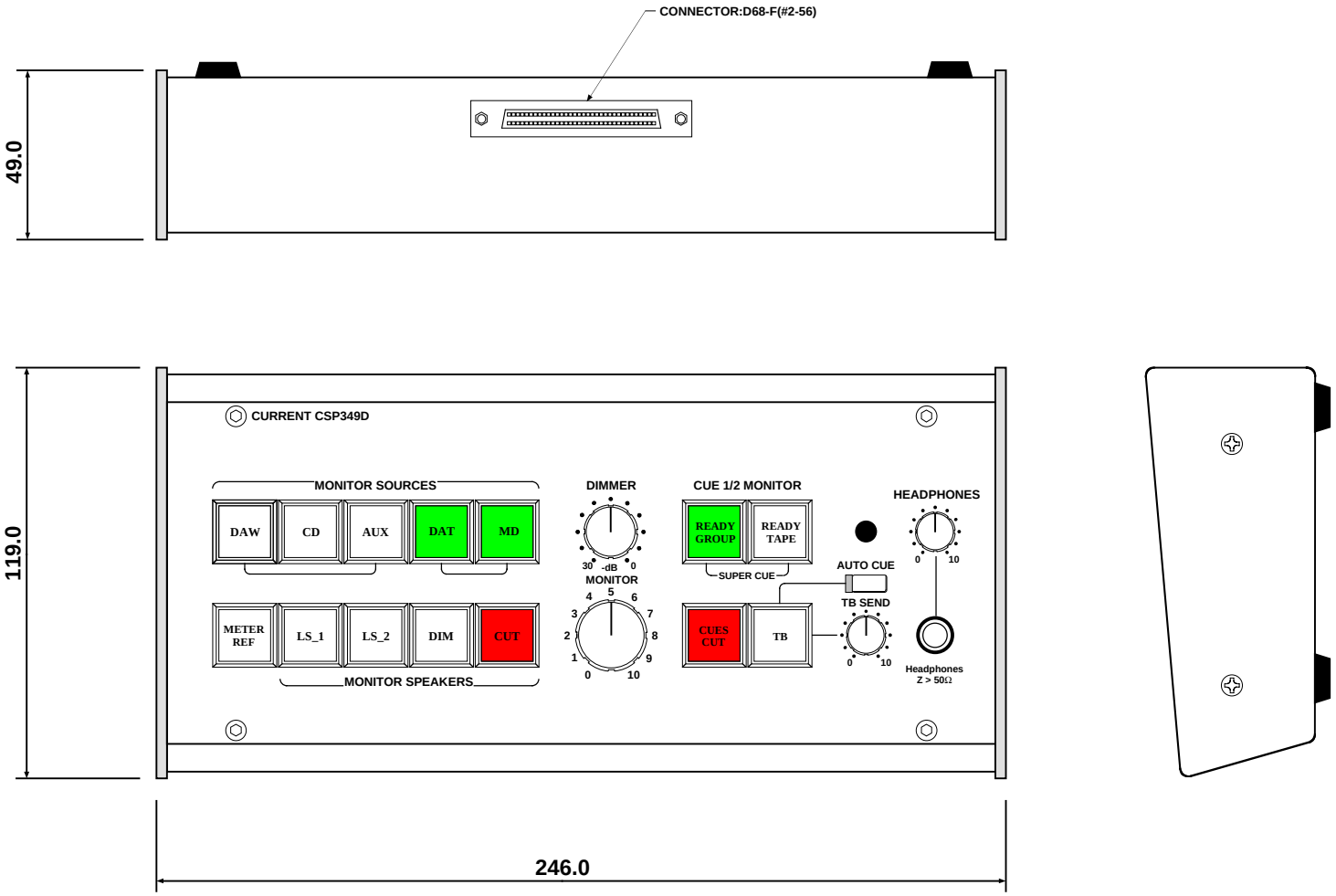
(c)CURRENT,INC.	ProMONITOR CSP349	DEC.2001
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	CSP349-D-2004



Jan.2004

リモート型の本体

(c)CURRENT,INC.	Pro-MONITOR CSP349D	Jan.2001
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	CSP349D-D2004



リモート型のコントローラー

(c)CURRENT,INC.	CSP349D ProMONITOR	Jan.2004
H.ICHIHASHI	REMOTE PANEL DIAGRAM	CSP349D-D

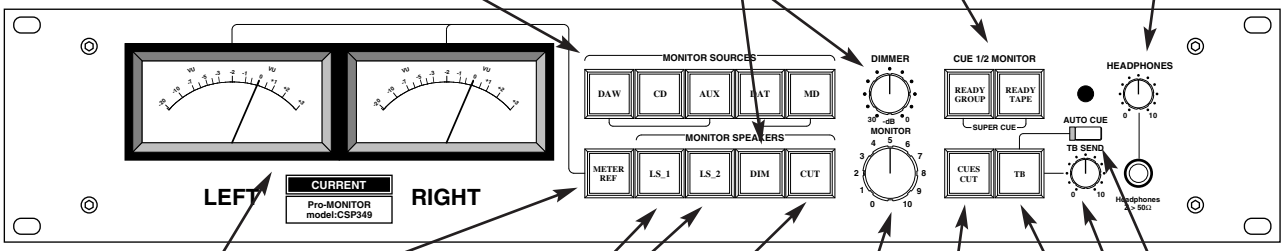
ProMonitor CSP349 (rev.3)

モニターセレクタ
５系統のソースを選択出来ます。ソース１，２，３は選択したものがRecordOutへ出力されます。ソース５，６はRecordOutを録音しながらのプレイバックモニターが可能です。電源投入時にはソース１が選択されます。内部のＳ５０１スイッチで１－５をチェンジオーバーモードへ切り換えることも出来ますが、この場合にはプレイバックモニターはハウリングが起こるため使用できません。

ＣＵＥ１，２モニター切り換え
ReadyGroup、ReadyTapeともにOFFの場合にはReplayが送られ、RECタリーが入力されてもそのままです。Groupが押されているとProgramが送られREC時もProgramです。Tapeが押されているとReplayが送られ、RECになるとProgramに切り替わります。両方押されているとSuperCueモードになり、ProgramとReplayがMIXされて送られ、RECになるとProgramだけに切り替わります。タリーを使用しない場合にはＣＵＥ１，２のソースセレクタとして使用できます。S301の設定でCUE L/Rのソースを PGM入力と切り換えることも出来ます。また、S302の設定でCUE 1/2にトークバックをミックスすることも出来ます。

ヘッドフォンレベル
ヘッドフォンはモニターセレクタで選択したものをモニターできます。ヘッドフォンはインピーダンスが５０Ω以上のタイプを使用してください。

ＤＩＭレベル
０ｄＢから約－３０ｄＢまで可変出来ます。



ＶＵメーター
モニターセレクタで選択したソースを表示します。基準レベルは＋４ｄＢｕですが、MeterRefスイッチで１０ｄＢアップの＋１４ｄＢｕに変更できます。

トークバック
ＴＢボタンでＣＵＥ出力ＬとＲへトークバックを送ります。AutoCueをONにするとＴＢがＯＮになり、PLAYまたはRECタリーで自動的にOFFになります。

モニター
メインとミニスピーカーのモニターレベルです。

モニターカット
モニタースピーカーをカットします。電源投入時にはＣＵＴになります。

スピーカー切り換え
ＬＳ１とＬＳ２を切り換えます。両方ともＯＦＦの場合には内部スイッチのＳ１０２の設定によりＬＳ３に切り替わります。電源投入時にはＬＳ１が選択されます。

CUEカット
全てのCUE出力をカットします。

レコード出力／ＬＳ３出力
ソース１－３の選択したものが出力されます。内部スイッチのＳ１０１の設定で１－５を出力することも出来ます。また、Ｓ１０２の設定でＬＳ３の出力にもなります。

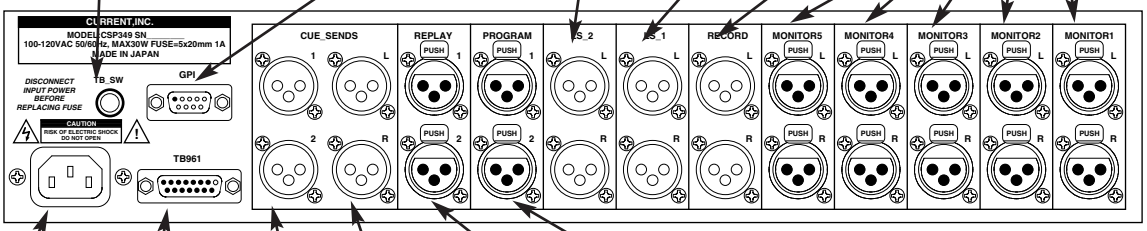
トークバックスイッチ
市販のフットペダルでトークバックをＯＮ／OFF出来ます。フットペダルは踏んだときに導通するタイプを使用してください。

ＧＰＩ
ＰＬＡＹ及び、ＲＥＣタリーを接続します。

ミニスピーカー出力

メインスピーカー出力

モニターソース入力１－５



プログラムソース入力
ＣＵＥ１，２へ送られるモニターソース入力です。通常はマイクプリアンプなどの録音ソースをレコーダー入力とパラで接続します。

ＴＢ９６１
リモートトークバックボックスＴＢ９６１Ｐを接続します。

ＣＵＥセンドＬ，Ｒ
ＣＵＥモニター用出力です。トークバックはこの出力にMIXして出力されます。

AC100V 50/60Hz入力
ヒューズは内部にあり、FUSE=250V 2Aで５ｘ２０ｍｍタイプを使用して下さい。

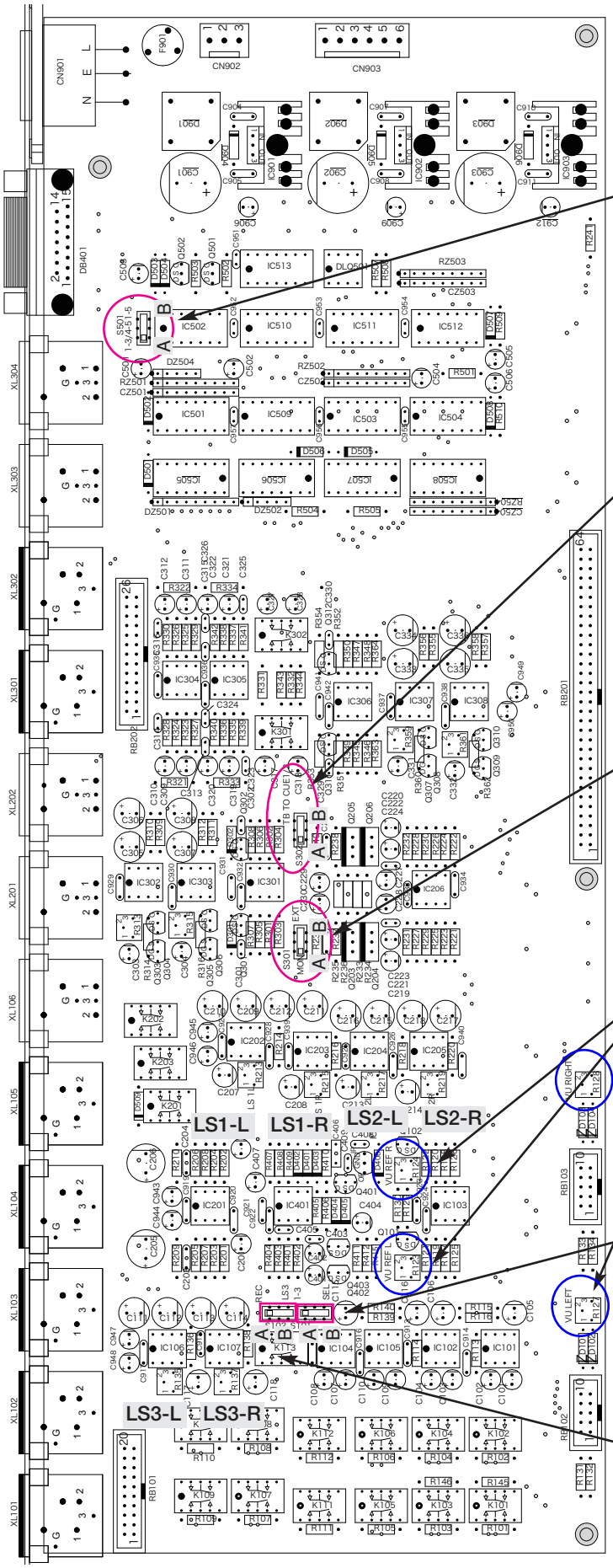
リプレイソース入力
ＣＵＥ１，２へ送られるモニターソース入力です。レコーダーのＣＵＥモニター用信号を接続します。

ＣＵＥセンド１，２
ＣＵＥモニター用出力です。ReadyGroup、ReadyTapeの機能はこの出力を使用します。

(c)2009 CURRENT,INC. www.crnt.co.jp 2-26-11 AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156, JAPAN TEL:81-3-3321-9559

powered by QarkXpress8J

ProMonitor CSP349 (rev.3)



Ｓ５０１：モニターセレクターモード
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとモニターセレクタ１－５が全て跳ね返り（チェンジオーバー）モードになります。通常はREC OUTを使用しない場合にＳ１０１と併用します。Ｓ１０１がデフォルトの状態では４，５を選択したときにREC OUTには出力されません。

Ｓ３０２：トークバックミックスCUE 1/2
デフォルトではTB信号はCUE L/Rにミックスして出力されますが、このスイッチをＢに切り換えるとCUE 1/2にTB信号がミックスして出力されます。PGM及びREPLAY入力を使用しない場合には単純なTB出力としてCUE 1/2を使用できます。このモードはReadyGroup及びReadyTape機能を使用しないことを前提としています。

Ｓ３０１：CUE L/R外部入力
デフォルトではモニターセレクタで選択したソース（LS出力とおなじもの）が出力されますが、このスイッチをＢに切り換えることでPGM入力をCUE L/Rのソースとして使用できます。このモードはReadyGroup及びReadyTape機能を使用しないことを前提としています。

メーターリファレンストリム
デフォルトでは＋１４ｄＢｕ入力時に０ＶＵに調整されています。

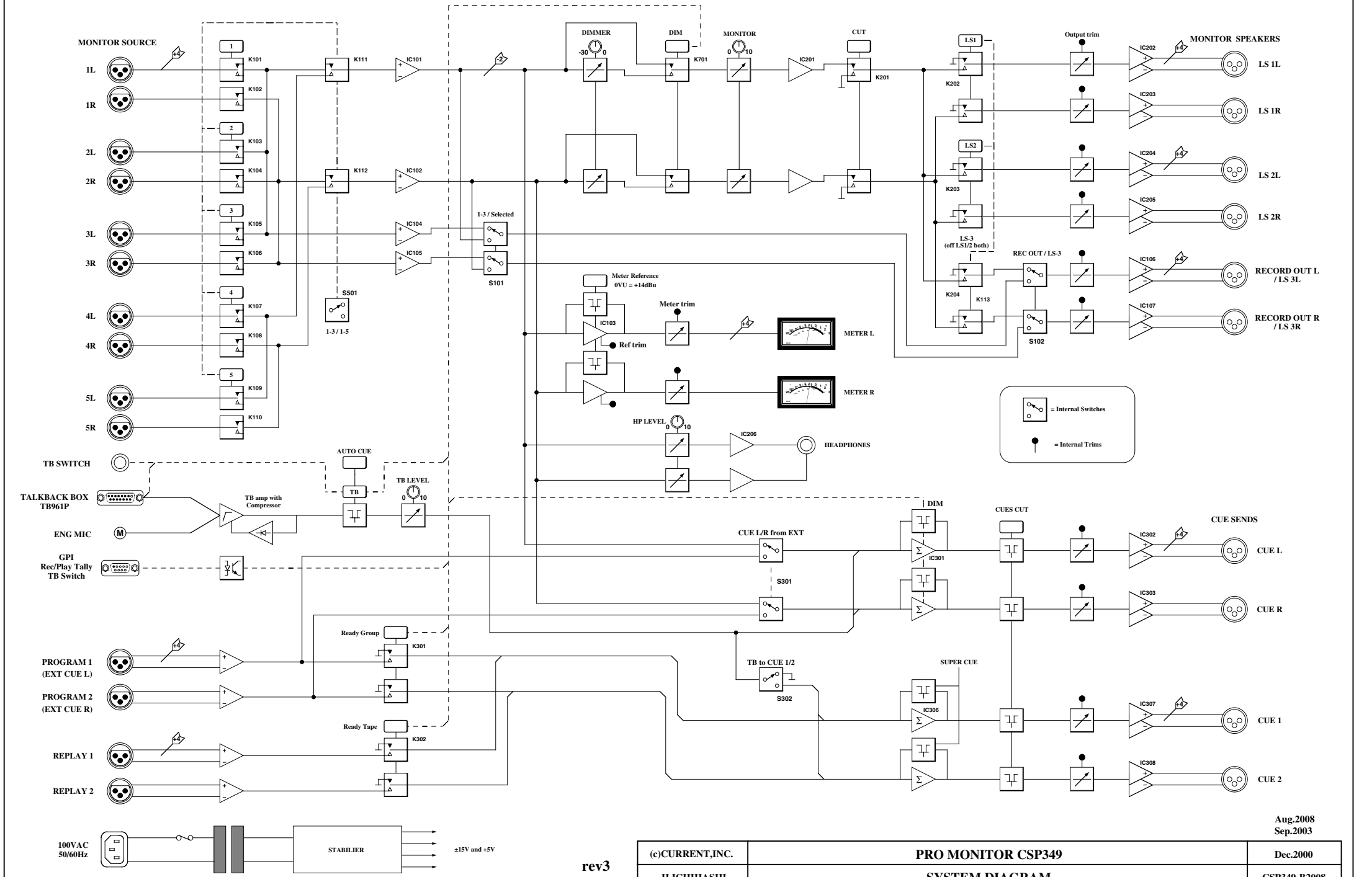
ＶＵメータートリム
フロントパネルのＶＵメーターを＋４ｄＢｕ入力時に０ＶＵに調整します。

Ｓ１０１：REC OUTモード
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとモニターセレクタで選択したソースが出力されます。通常はＳ５０１と併用します。

Ｓ１０２：REC OUT / LS3
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとフロントパネルのＬＳ１，２スイッチがいずれもＯＦＦの時には第３のモニタースピーカ出力となります。このスイッチがデフォルトの場合にはＬＳ１，２をＯＦＦにしてもREC OUTのままです。

(c)2009 CURRENT,INC. www.crnt.co.jp 2-26-11 AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156, JAPAN TEL:81-3-3321-9559

powered by QarkXpress8J



Aug.2008
Sep.2003

rev3

(c)CURRENT,INC.	PRO MONITOR CSP349	Dec.2000
H.ICHIHASHI	SYSTEM DIAGRAM	CSP349-B2008

Powered by Clariscad

CSP349 Connector Pin List

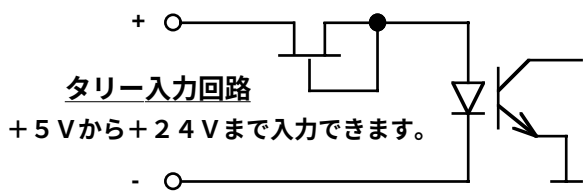
"TB961P" D15-F(#4-40) Connector

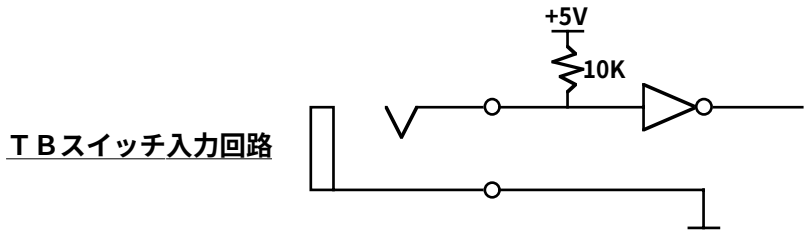
~~Ribbon~~	Hard	Signal name	Designation	Active
~~1~~	1			
~~2~~	9			
~~3~~	2	LP COM	LAMPS COMMON	+5V
~~4~~	10	SW COM	SWITCHES COMMON	0V
~~5~~	3	TB SW	TB SWITCH	0V
~~6~~	11	TB LP	TB LAMP	0V
~~7~~	4	AUTO CUE SW	AUTO CUE SWITCH	0V
~~8~~	12	AUTO CUE LP	AUTO CUE LAMP	0V
~~9~~	5			
~~10~~	13			
~~11~~	6			
~~12~~	14			
~~13~~	7	+5V	+5V MIC POWER	+5V
~~14~~	15	TB MIC	TALKBACK MIC SIGNAL	
~~15~~	8	GND	MIC GND	0V

TBマイク信号には必ず２芯シールド線を使用してください。

"GPI" D9-M(#4-40) Connector

~~Ribbon~~	Hard	Signal name	Designation	Active
~~1~~	1	REC+	REC TALLY +	
~~2~~	6	REC-	REC TALLY -	
~~3~~	2	PLAY+	PLAY TALLY +	
~~4~~	7	PLAY-	PLAY TALLY -	
~~5~~	3			
~~6~~	8			
~~7~~	4			
~~8~~	9			
~~9~~	5			



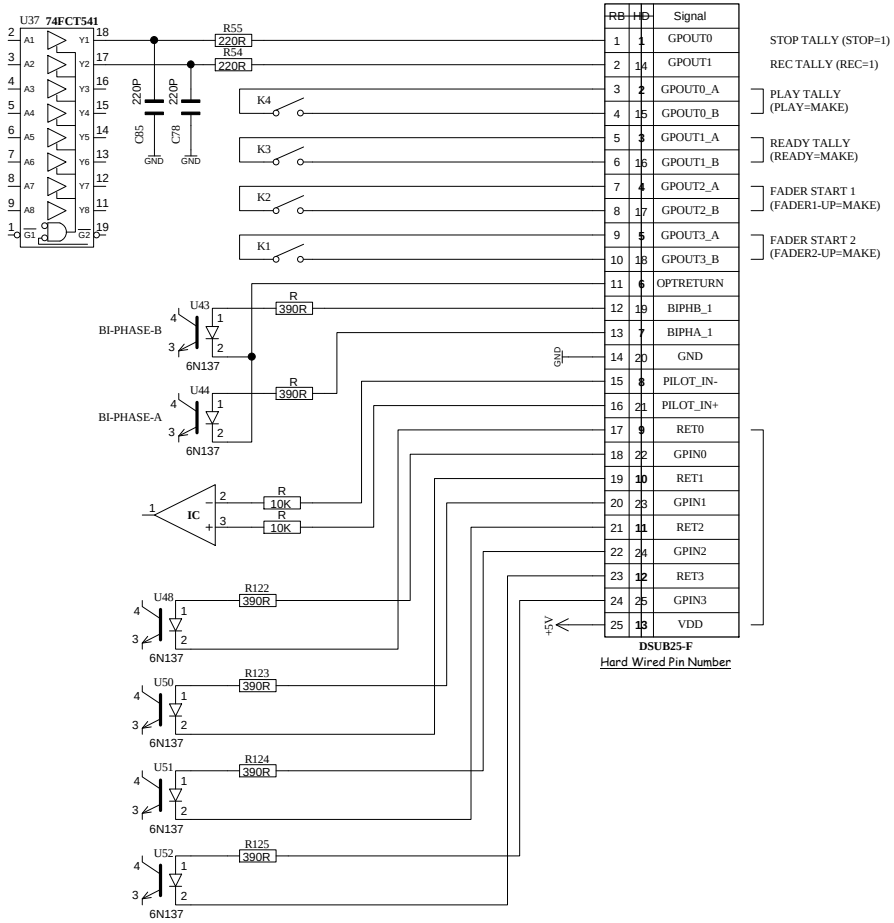


取付ビスは＃４－４０インチビスを使用して下さい

CAUTION! D-Connector for wiring refer to Hard pin number Description.

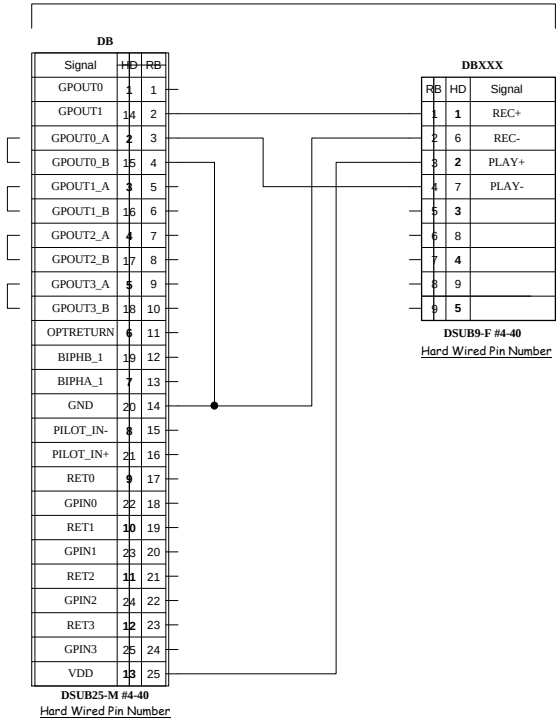
(c)2001-2008 CURRENT.INC.

USD, SYNC I/O



RB	HD	Signal
1	1	GPOUT0
2	14	GPOUT1
3	2	GPOUT0_A
4	15	GPOUT0_B
5	3	GPOUT1_A
6	16	GPOUT1_B
7	4	GPOUT2_A
8	17	GPOUT2_B
9	5	GPOUT3_A
10	18	GPOUT3_B
11	6	OPTRETURN
12	19	BIPHB_1
13	7	BIPHA_1
14	20	GND
15	8	PILOT_IN-
16	21	PILOT_IN+
17	9	RET0
18	22	GPIN0
19	10	RET1
20	23	GPIN1
21	11	RET2
22	24	GPIN2
23	12	RET3
24	25	GPIN3
25	13	VDD

CONNECTION CABLE

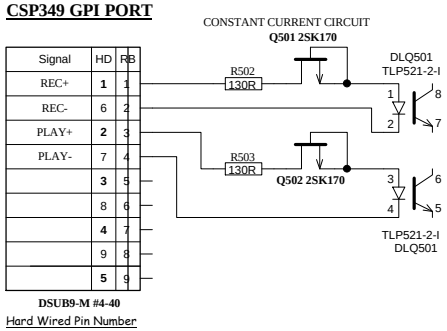


Signal	HD	RB
GPOUT0	1	1
GPOUT1	14	2
GPOUT0_A	2	3
GPOUT0_B	15	4
GPOUT1_A	3	5
GPOUT1_B	16	6
GPOUT2_A	4	7
GPOUT2_B	17	8
GPOUT3_A	5	9
GPOUT3_B	18	10
OPTRETURN	6	11
BIPHB_1	19	12
BIPHA_1	7	13
GND	20	14
PILOT_IN-	8	15
PILOT_IN+	21	16
RET0	9	17
GPIN0	22	18
RET1	10	19
GPIN1	23	20
RET2	11	21
GPIN2	24	22
RET3	12	23
GPIN3	25	24
VDD	13	25

RB	HD	Signal
1	1	REC+
2	6	REC-
3	2	PLAY+
4	7	PLAY-
5	3	
6	8	
7	4	
8	9	
9	5	

CSP349 ProMONITOR

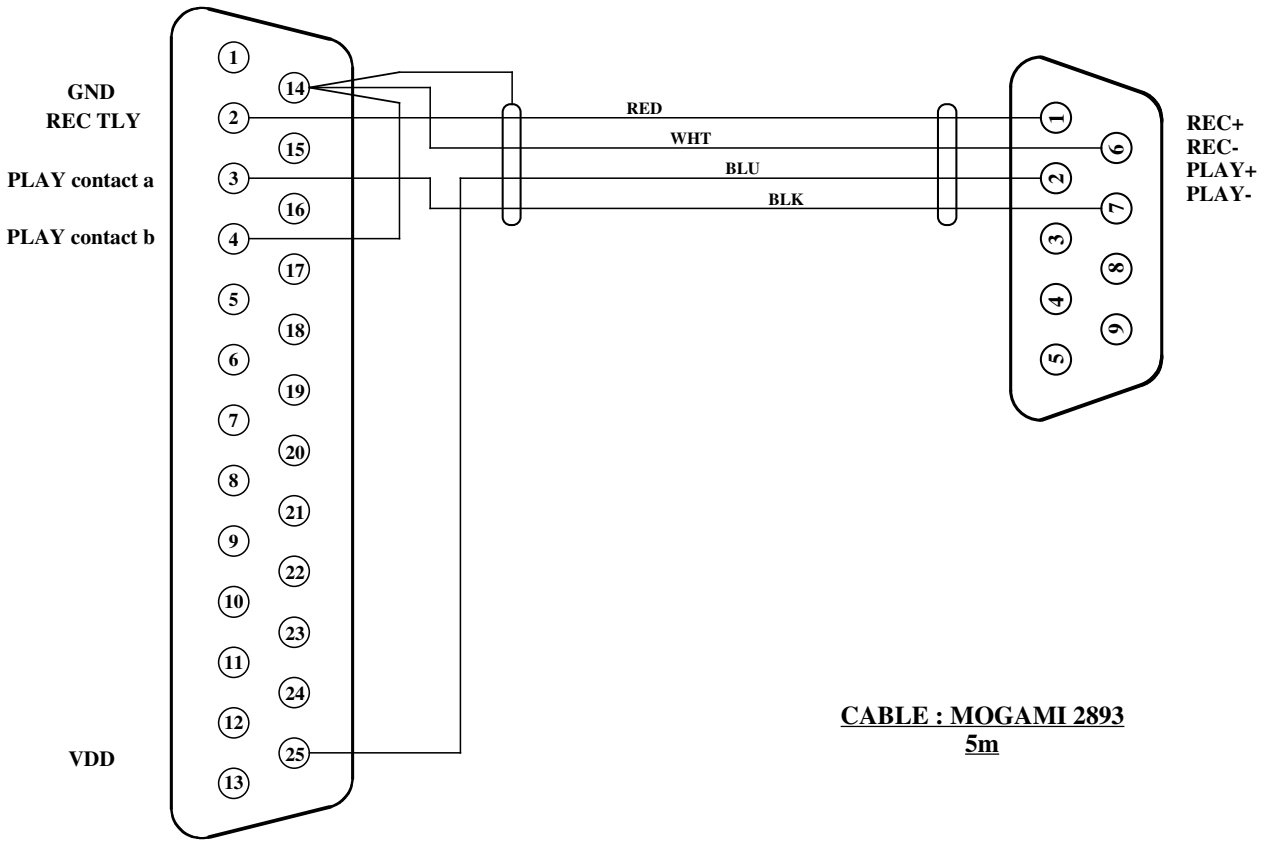
CSP349 GPI PORT



Signal	HD	RB
REC+	1	1
REC-	6	2
PLAY+	2	3
PLAY-	7	4
	3	5
	8	6
	4	7
	9	8
	5	9

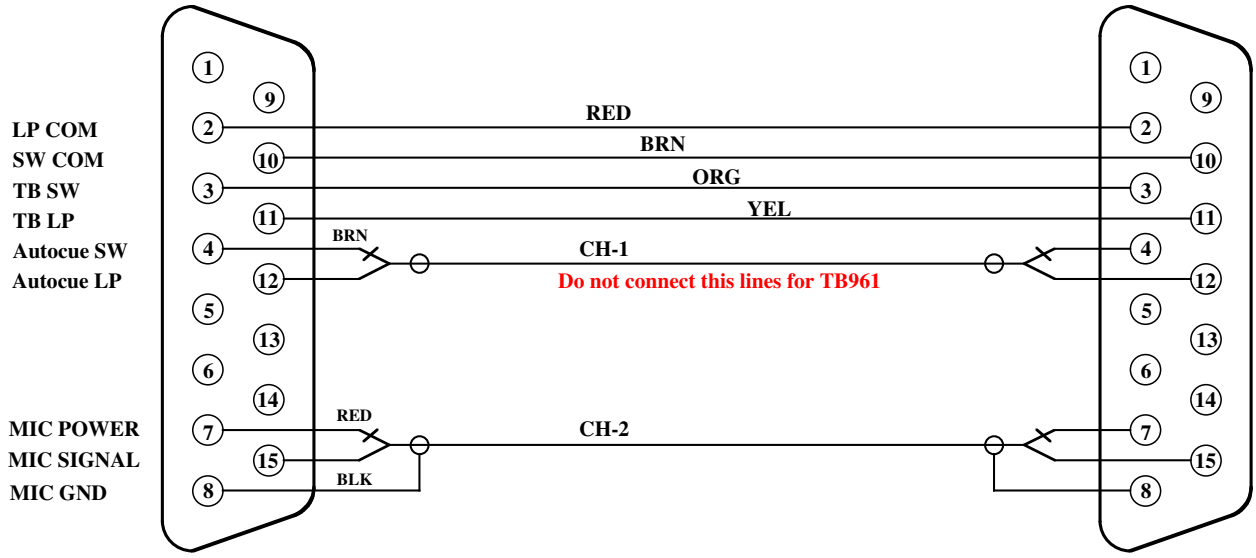
(c)CURRENT,INC.	C S P 3 4 9	SEP.2007
H.ICHIHASHI	PROTOOLS USD / SYNC IO CONNECTION	1 OF 1

GPI CABLE



CABLE : MOGAMI 2893
5m

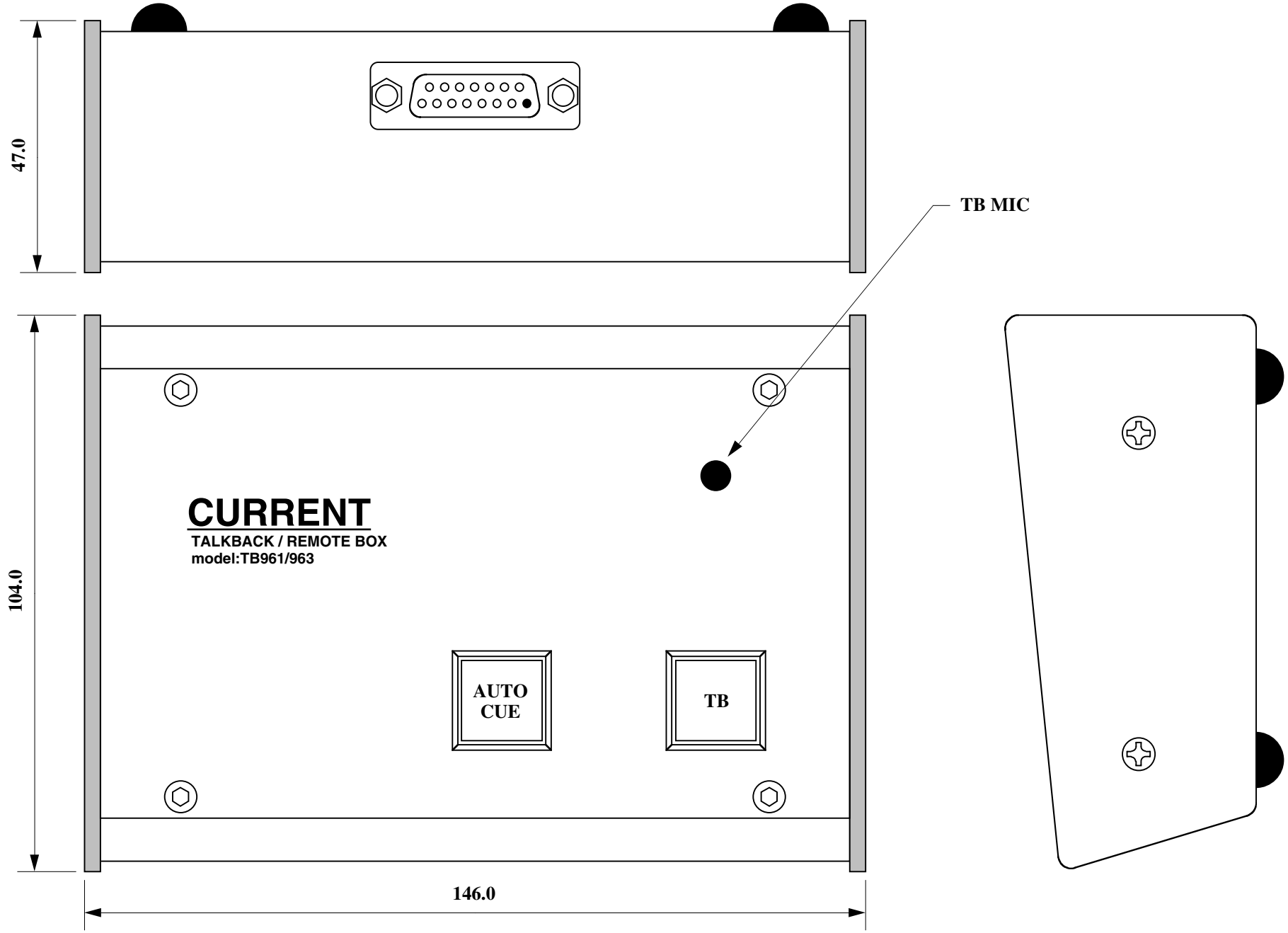
TB961P CABLE



CABLE : MOGAMI 2997
5m

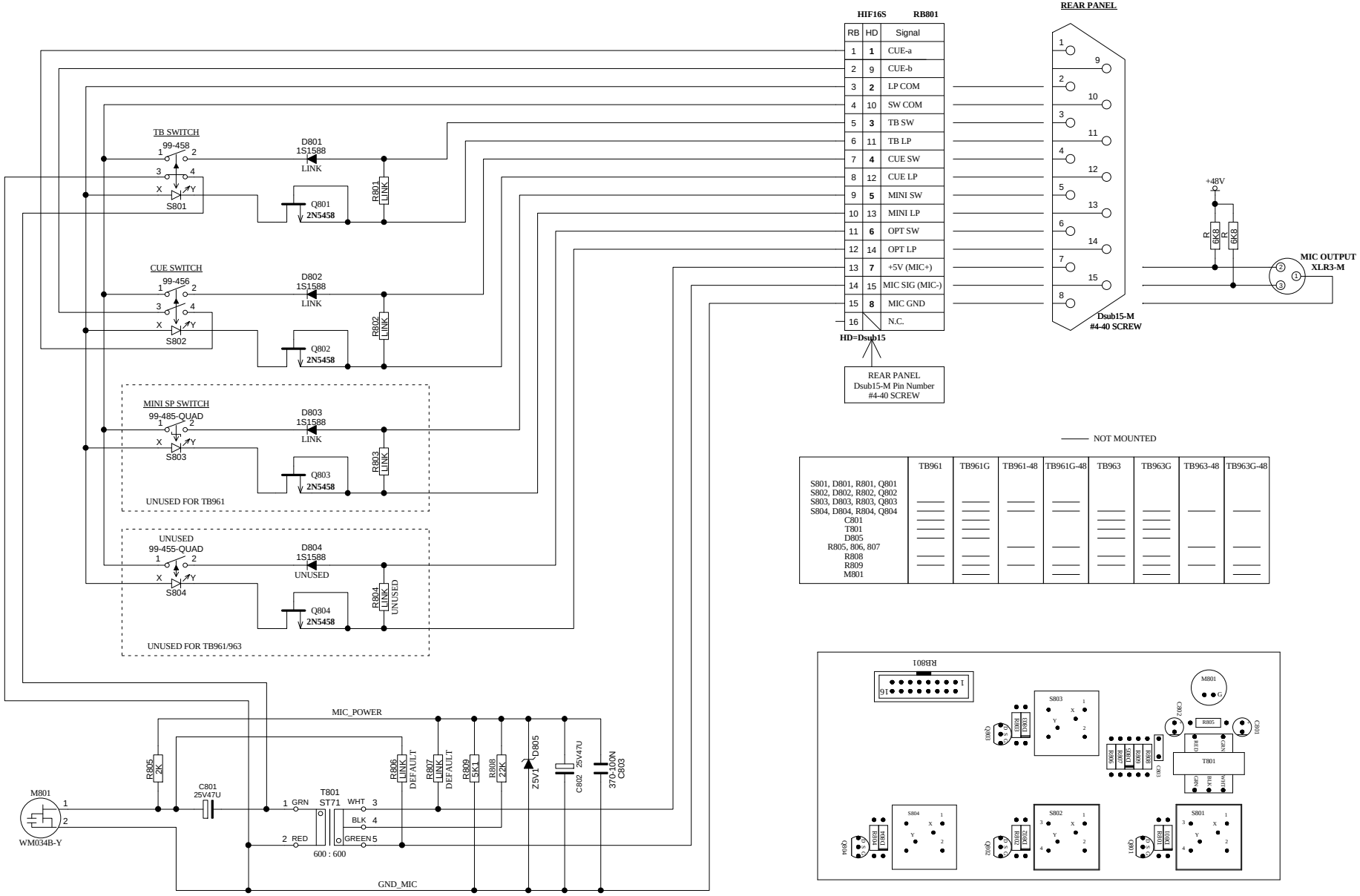
(c)CURRENT,INC.	CSP349 rev.1-3	Oct.2012
H.ICHIHASHI	GPI & TB-BOX CABLE	CSP349 rec1-3 GPI/TB cable

powered by clariscad



CONNECTOR:D15-M(#4-40)

(c)CURRENT,INC.	TALKBACK BOX TB961P for CSP349	Apr.2003
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	TB961-P



TB961/963

(c)CURRENT,INC.	TB961/963 TALKBACK BOX	SEP.2007
H.ICHIHASHI	1.100.203	1 OF 1